

世界の果てまでトビタテ！ペルーで考古学を学ぶ

1. 活動時期

:2023.7/8-7/28

4年8組 小野 一颯

2. 参加のきっかけ

:トビタテ留学JAPANという政府の留学プロジェクトを学校からの掲示で知り、その活動の一環として興味があった都市計画と考古学を学ぼうと思い興味を持ちました。

中高生が行くことは少ない南米だからこそ学べる何かがあると思い、ペルーを選びました。



3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

参加する前は言語が通じるのか、これが本当にやりたいことなのか、様々なことで悩みました。南米という治安的にも安心できないところだからこそ感じる不安もありましたが、一方で未知のことに対する好奇心もありました。

結果的に参加しているときの楽しみが不安をすべて消してくれました。そのうえ、将来に通ずる面白い体験をできたので、行ってよかったし、これからも行きたいなと思いました。

②活動中の面白かったポイント

- ・日本では絶対にできない活動(ミイラの発掘、未発表情報をしれるなど)をすることができる
- ・世界の人々や、一緒に活動した留学生とのつながりができる
- ・いままでできなかった発掘活動が行えた

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

:世界を見てみましょう。できる出来ないで決めるのではなく、好奇心でやるかやらないかを決めましょう。少しでも興味があったらトビタテに参加することをお勧めします。